



市丸 典夫

地区に隣接する  
民家のやぶ問題

市長

所有者に対して改善指導や  
助言を行っている

**市丸** 竹やぶが生い茂って、隣の家の屋根を払っている。また、落ち葉で雨どいが詰まったりしている。こういった問題を抱える家が市内には幾つかあると思う。市としての対処、また、考え方は。

**市丸** 市に相談してから5、6年がたつ。いまだ改善がなされていない。法的根拠に基づく対応は考えられないか。

**市丸** 管理者の理解を得られるよう努めていく。

その他の質問

○晴田小南の道路について

**市民部長** 小城市における条例等の規定では罰則規定までは設けていない。強制的にこれを解決するのは難しく、今後

**市長** しばしば市に対して苦情や相談等が寄せられている。その場合には、土地の所有者や管理者に対し、適正な管理の実施について、改善指導や助言を行っている。私有地の適正管理については基本的に所有者や管理者に委ねられており、市民の皆様への御理解、御協力をお願いしたい。

**市民部長** 環境省が作成公表している自治体排出量カルテによると、令和元年度22万6,000t排出。内訳は産業部門4万t、業務その他部門4万9,000t、家庭部門4万8,000t、運輸部門8万9,000t。②基準年度を平成25年度とし、CO<sub>2</sub>排出量実績値は29万9,000t。



▲適正な管理ができていない樹木



香月 千エミ

カーボンニュートラルの  
取組みは

市長

市民が実行できるCO<sub>2</sub>削減  
を紹介し取組む

**香月** ゼロカーボンシティ宣言後の行動が求められている。

①市のCO<sub>2</sub>排出量の現状は。

- ②削減目標の設定と工程。
- ③進捗状況の確認と公表。
- ④行政、市民の取り組みは。

**市民部長** ①環境省が作成公表している自治体排出量カルテによると、令和元年度22万6,000t排出。内訳は産業部門4万t、業務その他部門4万9,000t、家庭部門4万8,000t、運輸部門8万9,000t。

短期目標として令和8年度19万8,776t。中期目標として令和12年度16万1,331tを目標排出量とする。最終目標として、令和32年度(2050年度)実質ゼロを設定している。

③環境省の自治体排出量カルテにより推移を確認し、市のホームページでも見えるようにリンクを貼り、市民や事業所と共有できるように配慮する。

④カーボンニュートラルの実現のために、省エネにつながる身近なことからスタートし、具体的な



▲子ども服のおゆずり会/小城市エコフェスタ

ことについて調査、研究を進めていく。

その他の質問

○学校教育における性教育に係る取り組み等



赤松 貴子

環境政策についての市の考えは

市長

市民の皆さんにも協力をお願いしたい



一人一人の意識で変わるゴミの課題

赤松 子どもたちと環境を考えた時、社会教育を考える上で大切な家庭ゴミの中の生ゴミの現状と課題は。

市民部長 家庭から排出されるゴミの現状は、ここ数年一人当たりの排出量が増加傾向にあるため課題と考える。生ゴミは約80%が水分と言われているため、ゴミを排出さ

れる前の工夫や一手間での減量が可能と考えられているため、家庭での水切りの徹底、食品ロスの呼びかけ、生ゴミの堆肥化推進を勧めていく。

赤松 生ゴミは燃やせば燃やすほど焼却炉の温度が下がり、その分コストがかかる。生ゴミを「ゴミ」ではなく堆肥などの資源にすることで浮いた

コストを教育や福祉の予算に回せることも可能と学びの機会に聞いたのでいかしてほしい。

市長と語る会について

赤松 公約である市長と語る会の実績と今後の予定は。

市長 今年6月から市内全ての行政区を予定していたが、校区単位に変更し、早目に開催したい。

その他の質問

○公共交通のあり方／文化財の保存・活用について



諸泉 定次

急増する不登校への対応は

教育長

保護者・関係者と組織的に対応している

諸泉 昨年、不登校の小中学生は全国で24万人で過去最多。小城市の現状と対策はどうしているのか。

教育長 年間30回以上欠席した児童・生徒の心理的・情緒的・身体的や社会的要因の背景により登校しない、したくてもできない状態で、病気や経済的理由を除く子どもたちを不登校と定義されている。小城市では令和3年度小学校で19人、前年比7人増。中学校で65人、前年比11人増で、令和4年10月まで小学校で15人、中学校で53人で学年が

上がるごとに不登校の増加傾向である。対応として、年2回以上の定期教育相談や状況に応じての個別相談。また月1回以上のアンケート調査での早期発見・早期対応につなげている。学校全体で組織的に対応し、心理カウンセラー「ほたる」と学校との連携。心の居場所づくり、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー配置など本人・保護者・学校へのサポートを行っている。園児も含め、各学校と各専門の強みを生かし連携して取り組んでいる。



登校中の生徒たち。学校はどう映っているか



深川 高志

交付金(観光振興)事業とは

市長

観光の力を活用し、交流人口等の増大を図る

**深川** 地方創生推進交付金(観光振興)事業の目的として、観光客、観光消費額の減少や通年で人を呼べるコンテンツの不足、地域の担い手の不足等の課題を解消し、観光人口、交流人口の増大を図るといふ事業目的を計画されている。小城市の観光地としての現状と課題として、交付金事業の基本方針及び小城市が行う観光振興の役割とは。

**市長** 地方創生推進交付金(観光振興)事業とは、地域の魅力を効果的に発信できる体制を整えるとともに、観光の力を活用した交流人口や関係人口の創出、経済波及効果

の増大を図ること観光客、観光消費額の減少、そして、通年で人を呼べるコンテンツの不足地域の担い手の不足等の課題を解消し、「ひと」を呼ぶ小



▲観光振興を目指したサイクルツーリズム検証

新しい人の流れをつくる」を実現するため、内閣府の地方創生推進交付金を活用して令和3年度から令和5年度までの3年間実施する。

**総務部長** 観光客に市内を周遊し、観光資源を最大限に生かし、交流人口の拡大を目指す課題に対し、当事業では、自転車に着目した取り組みを行っている。



西 正博

道路橋の修繕に遅れと  
国交省発表

市長

小城市では残り6橋を来年度修繕し完了する

**西** 平成26年から30年の間に長寿命化のために修繕を必要と判定した市区町村管理の道路橋約4万ヶ所のうち2万弱、43%が昨年度末時点で対策が未着手と国土交通省の発表が報道された。市民の安心・安全のためにも早く着手すべきと考えるが、小城市の状況を問う。

**市長** 市で管理している橋梁は、令和元年度現在324橋あり、5年に一度、全ての橋を点検している。判定区分ⅢとⅣの橋は5年以内に修繕を完了する義務がある。市では54橋あったが修繕は進み残り6橋を来年度に着

手し工事が完了する予定。

**西** 未着手の6橋の判定区分と林道や農道、里道についての状況を問う。

**建設部長** 判定区分はⅢ。里道橋は、高速道路跨道橋とほか、計6橋以外は点検を行っていない。

**産業部長** 農道橋4橋のうち1橋が判定区分Ⅲで令和6年度に修繕を計画している。林道橋12橋のうち2橋が区分Ⅲであったが、修繕工事は完了している。判定Ⅲ、Ⅳの橋梁は林道にはない。



5年に1回 近接目視点検

区分	
I	健全
II	予防保全段階
III	早期措置段階
IV	緊急措置段階

点検作業の例及び判定区分(国交省サイトより)



江島 佐知子

子どもたちに  
適切な支援を

教育長

個々に寄り添う形で  
家庭、子どもを支援する

た社会人になるための支援が必要。

③子どもの貧困は家庭の問題。家庭への支援が重要。

教育長

①公立・民間合わせた「幼児教育・保育ネットワーク」でチェックシート等の共有等も図りながら協議している。また、「幼保小連携ネットワーク」会議を



▲小学生と幼稚園・保育園児の交流会

**江島** ①保育園、幼稚園等での事故防止の取り組みは。また、幼児教育・保育と小学校との連携は。②不登校に対する対応は。登校できることだけが目的ではなく自立し

設け、就学前幼児と小学生の交流会等も開催している。市で作成した「幼児教育・保育の羅針盤」を小学校の先生方にも配布している。②児童・生徒には違いがあり寄り

添った対応が必要。保護者との連携も重要。

市長

③子ども家庭総合支援拠点を設置し、妊娠、出産、子育て期を支援している。関係機関と連携して把握、支援に繋げる。

老朽化した学校は  
大規模改修を

江島

30年以上経つ学校や特別支援学級の増加で教室不足の学校が多いが、大規模改修が必要。トイレの洋式化も急ぐべき。

教育長

課題と捉えている。年次計画を立てて前向きに取り組む。

向きの取り組み。



満岡 利宏

小城市の  
空き家問題について

市長

誰もが安全安心に暮らせる  
まちづくりをする

**満岡** 小城市の空き家問題の現状と対策は。

**市長** 適切な管理が行われないまま放置されている

る状態の空き家等は、多岐にわたる問題を生じさせ、地域住民の生活環境に悪影響を及ぼしているものもあるため、市民の生命・財産を保護する目的で小城市空き家等対策計画を策定し、空き家等の対策を行っている。

家を処分したいという方には、不動産協会の相談員に相談いただき、無料査定などを御利用いただいたり、空き家の解体費用についても年々上昇傾向にあるので、解体工事の見積りを複数業者に依頼して、比べていただくようにお勧めしている。

満岡

老朽化した空き家の処分を考えている人への空き家の解体、売買等の支援体制は。

建設部長

空

産業部長

小城市空き店舗ノベーション事業補助金や空き家バンクを参考に情報提供していただき、マッチングができる空き店舗バンクの設置についても研究していく。



▲空き倉庫を利用して出店した花屋



藤田 直子

**藤田** 乳児6ヶ月から4歳までのワクチン接種について万一、事故になった時の補償は。

## 乳幼児のワクチン接種の現状は

**市長** 第8波に突入り  
ワクチン接種は必要である

金を活用し集約する取り組みを拡大推進する。

**(仮称)小城市** フットボールセンター事業について

**藤田** (仮称)小城市フットボールセンター事業の進捗状況について。

## 大豆の自給率に ついて

**藤田** 大豆自給率は日本は6%だが、小城市大豆生産の今は。

**産業部長** 大豆は重要な戦略作物として産地交付



▲大豆の6次加工品化の可能性に期待したい

**総務部長** 盛り土完了し圧密沈下を測定し沈下が落ち着かない状況であり本格工事に入れている。早期完成をめざす。人工芝の耐用年数はおおむね10年程度である。

## その他の質問

○ICTの小中教育振興について

○ふるさと納税の市長おまかせコースの在り方



谷田 信二

**谷田** 国は令和4年度末にほぼ全国民にマイナンバーカードが行き渡ることを目指しているが。

## マイナンバーカードの普及状況は

**市長** 小城市の交付枚数は全国平均を上回っている

ている。佐賀県は57・3%ということで、全国47都道府県の中で上位から5番目と、全国的に高い順位となっている。

**市長** マイナンバーカードの申請機会の拡大、普及促進に努めてきたところ小城市の交付枚数率は全国平均を上回っている。

**谷田** カード普及率によつて地方交付税の算定への影響を示されているが。

**市民部長** 小城市の交付枚数率は57・3%となつ

**総務部長** 普及状況を交付税の算定に活用する方向との回答があつている。今後の

情報を注視する。



▲マイナンバーカードで便利な暮らしを

## 奨学金制度について

**谷田** 奨学金の受給者数と滞納状況は。

**教育部長** 令和3年度末における小城市育英資金の貸付者数は62人、貸付額は3,142万6,400円、小城市小柳育英資金の貸付者数は14人、貸付額は494万4,000円となる。

## その他の質問

○奨学金制度について、移住を条件とした返還支援策など



前田 博己

### ポンプ操作の遠隔化を急ぐべき

**建設部長** 国・県とも協議し検討していきたい

の考えは。

**前田** 佐賀県内水対策プロジェクト会議の資料や議事録を読んでみたが、遠隔化・自動化の言葉が出ていない。国交省の社会資本整備審議会の答申でも「国内の高齢化の現状などを踏まえ、河川機械設備に係る官民の機械技術や操作員の確保が今後いっそう厳しくなること

**建設部長** 国及び県とも協議、検討をしていきたい。

**前田** 小城市の水源は外資などの買収から守られているか

市の水源、市民の水道水を守るための対抗措置手段はあるのか。

**産業部長** 届出制度の活用、周知に努め、

とが想定されることから、遠隔監視操作技術、自動化技術による集中管理を念頭に信頼性を確保した上で少人化が必要不可欠とされている。また、自治体によってはすでに、地元企業とタッグを組み低コストで自動化・遠隔化の実現に動き出している所もある。小城市

森林所有者情報に注視していく必要があると考えられている。

### その他の質問

○県道44号小城市富士線(北浦)の早期2車線化  
○災害時などのドローン活用



▲早期拡幅が望まれる県道



泉 万里江

### 放課後児童クラブでの育成について

**教育長** 多様な環境の中で心身共逞しく育ててほしい

**泉** ①コロナ禍での対策は。②安全面の取り組みは。③支援員等の研修状況は。④事業者支援員等の振り返りや評価、保護者や児童へのアンケート実施と活用は。

り現場で判断に活用している。ヒヤリハット事例は関係機関で共有し再発防止に努めている。火災時の避難訓練の実施、支援員等対象に不審者対応講義、地震等災害対応は情報共有を行なっている。③佐賀県主催の研修の他、受託事業者主催で発達や障がい、虐待、応急手当等児童保育の知識を深める研修を実施している。④年内に支援員等に面談し課題抽出や評

### 教育部長

①消毒・換気等感染予防対策と畳を全て抗菌畳に変更し、空気清浄機等に配置した。感染拡大を鑑み保護者等の理解を得ておやつ提供は1月から中止し、毎月関係者で再開について協議している。②令和3年は重篤な事故等の報告は無いが、発生時は作成している運営マニュアル中の事故対応やフローチャートに則

り現場で判断に活用している。ヒヤリハット事例は関係機関で共有し再発防止に努めている。火災時の避難訓練の実施、支援員等対象に不審者対応講義、地震等災害対応は情報共有を行なっている。③佐賀県主催の研修の他、受託事業者主催で発達や障がい、虐待、応急手当等児童保育の知識を深める研修を実施している。④年内に支援員等に面談し課題抽出や評



▲放課後児童クラブで過ごす子どものイメージ



中尾 勝吉

## 小城市への 移住・定住の促進は

市長 小城市の魅力の  
情報発信PRを行っている



▲移住・定住について相談を受け付けている

口の戦略として定住促進住宅取得奨励金等の補助金交付事業を実施し、移住・定住対策を行っている。

中尾 地域  
おこし協力

隊の中の移住・定住に関するコーディネート活動とは、どのような事を行っているのか。

建設部長 令和3年11月

から移住・定住のコーディネートとして活動している。活動内容は、「ゆめぶらつと小城」に

### その他の質問

○防犯灯の設置について

において、空き家に関する相談と合わせ来場者、または電話などの対応をしている。令和4年度は4月より10月までに相談窓口開設を約65日開催し、来場者のうち、136件の相談を受けた。

中尾 移住・定住希望者は、小城市に何を求めて来ているのか。

建設部長 一番は、「子育てがしやすい」「水がきれい」「公園等桜がきれいで環境がよい」など。



▲中央線が消えている市道練ヶ里幹線



松並 陽一

## 市道管理における課題は

市長 今後一斉に老朽化し、  
修繕が必要になる

松並 道路の線引きなど交通安全関連の修繕をする場合の課題は。

建設部長 最近は業者の繁忙期のため、入札が不調になることもある。来年度以降は入札を早めに、また細かく行っていく必要がある。

松並 市民から道路の修繕等の要望があった際に、対応する、できないの返答はしているか。

建設部長 職員に周知徹底していく。

### 市民の利便性向上の施策

松並 牛津駅にICカード改札が設置されると発表されたが、利用者の多い小城市の利便性向上のための施策は。

建設部長 駅北側の県道小城市千葉公園線の整備により、渋滞緩和が期待される。ICカード改札の設置は聞いていない。

松並 牛津地区の空き店舗リノベーション事業の実績が少ない原因と、来年度以降の実施は。

建設部長 貸出できる店舗が少なく、新型コロナウィルスによる出店見送りも多かった。来年度どうするかは協議する。



中島 正樹

都市下水路の  
現状と課題は

市長

計画的かつ効率的な維持管理に努めていく

**中島** 都市下水路の機能維持管理について現状と課題は。

**市長** 現在、小城町に2ヶ所、牛津町に1ヶ

所、計3ヶ所が整備され、役割としては、市街地において雨水排除を目的とした終末処理場を有しない水路。それぞれの整備から相当の年数が経過しているの

で、中・長期的な観点から様々な検討すべき課題があると認識している。市民の安全・安心な暮らしを確保するため、将来にわたって都市下水路の機能を発揮し続ける必要があることから、計画的かつ

つ効率的な維持管理に努めていきたい。

**建設部長** 機能診断を実施し長寿命化計画についての検討を行い、令和3年度より優先順位をつけて劣化箇所の維持補修工事を進めている状況。課題としては安全性の確保について、機能上、都市下水路の大部分が開口構造となっていることから、道路等と隣接する箇所には転落の危険性がある。ガードパイプなど転落防止策を整備していく。

その他の質問

○中心市街地活性化

あることから、計画的かつ

▲計画的な整備計画が急務な都市下水路



松尾 義幸

牛津駅の跨線橋に  
屋根の設置を

市長

所有者のJR九州と引き続き協議している

**松尾** ①牛津駅の跨線橋の回収と屋根の設置は。

②エレベーターの南北への設置は。③自動改札の方向だが、南部からの乗車対策は。

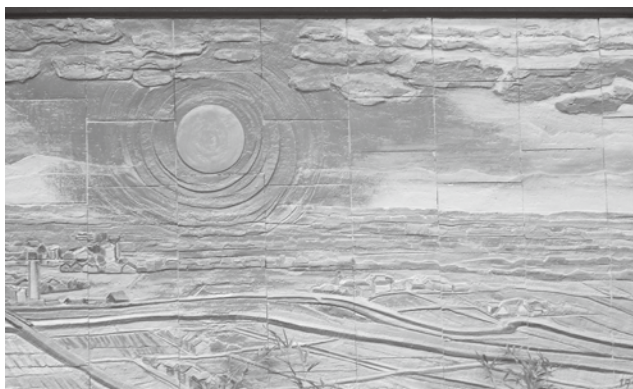
**建設部長** ④ひろば内での移設を予定したが、壁面の強度や破損など困難で移設を断念した。⑤旧長崎街道宿場町をイメージした壁画は、有田の岩尾磁器の職人さんの手で作製。

線路側の壁画は、唐津市在住の画家、乗田氏の原画をもとに岩尾磁器で作製された。⑥駅舎の時計は、先日JR九州の担当者にお願したところ、現在駅舎の窓口に設置されている。

その他の質問

○学校給食費の無償化について  
○「地域猫」の取り組みについて

**松尾** ④津の里ひろばの壁画の現状保存は。⑤北面の壁画、南面の壁画の設置経緯と誰の作品か。⑥牛津駅内に時計の設置を。



▲現状保存の要望が強い牛津駅の陶板壁画（線路側）





片瀨 勝也

## ムツゴロウ王国の看板は

商工  
観光  
課長  
腐食・基礎の地割れにより  
まずは撤去



▲老朽化したムツゴロウ王国の看板

**片瀨** ムツゴロウ王国の老朽化による撤去と今後の設置の考えは。

**片瀨** 撤去に当たって芦刈町全区長への周知は。

**商工観光課長** 芦刈町に3ヶ所存在している、ムツゴロウ王国の看板は、年度内に撤去する。牛王の塔については、文化体育館の表示をつけて新設する。町分と住ノ江については撤去する。

**商工観光課長** 老朽化により、まず撤去することと今後について芦刈町全区長に文書を配布した。

**片瀨** 今後、町分と住ノ江の新設の考えは。

○新型コロナウイルス感染症について

○過疎対策について

### その他の質問

**産業部長** 設置した昭和63年当時と今の芦刈町の進展が、著しく変わっている。観光施設の利用者が増えている状況の中で、町分地区は芦刈町の北の玄関口、住ノ江地区は南の玄関口とし、印象や心象も大事になっている。今後、観光施設や移住・定住の対策等が進んでいくことと併せて、看板設置についても必要性を考え設置場所等は研究していく。

①佐賀唐津道路(多久・佐賀間)の整備促進について(国土交通省)

②牛津川遊水地事業の持続的な予算確保等について(国土交通省)

③今後の子ども支援について(厚生労働省)

まず、国交省道路局長に対し、佐賀唐津道路の予算確保とI期の早期着工及びII期の早期事業化の要望を行った。次に、水管理・国土保全局長に対し、河川激甚災害対策特別緊急事業として採択された牛津川の遊水地事業の整備促進について、期限を超えた場合でも継続的な予算の配分及び市が行う集団移転事業に対し継続的協力を要望した。県選出の国土交通政務官へも重ねて要望した。

次に、農林水産省では、農林水産大臣へ牛津川右

岸の浸水常襲地帯に対する排水対策についての要望を行った。県選出国会議員へも訪問し牛津川の激特事業として採択され、現在、牛津川の遊水地、引堤、浚渫しんせつの河川整備事業が実施されつつあることに対するお礼に加えて、今後の市の課題である道路問題等に対する協力も要請した。また、小城市の課題である治水対策の一環としての牛津川遊水地(小城市)と牟田辺遊水地(多久市)の利活用について国土交省の水管理・国土保全局の治水課より説明を受け、意見交換をした。同日、未来を担う子どもたちの健やかな育成を支援するための、これから発足する「子ども家庭庁」に関し、その体制や役割、児童福祉法等の一部を改正する法律案の概

## 議会運営委員会 要望活動・視察報告

(期間) 10月11日～13日

(目的及び視察地)

①佐賀唐津道路(多久・佐賀間)の整備促進について(国土交通省)

②牛津川遊水地事業の持続的な予算確保等について(国土交通省)

③今後の子ども支援について(厚生労働省)

まず、国交省道路局長に対し、佐賀唐津道路の予算確保とI期の早期着工及びII期の早期事業化の要望を行った。次に、水管理・国土保全局長に対し、河川激甚災害対策特別緊急事業として採択された牛津川の遊水地事業の整備促進について、期限を超えた場合でも継続的な予算の配分及び市が行う集団移転事業に対し継続的協力を要望した。県選出の国土交通政務官へも重ねて要望した。

次に、農林水産省では、農林水産大臣へ牛津川右

岸の浸水常襲地帯に対する排水対策についての要望を行った。県選出国会議員へも訪問し牛津川の激特事業として採択され、現在、牛津川の遊水地、引堤、浚渫しんせつの河川整備事業が実施されつつあることに対するお礼に加えて、今後の市の課題である道路問題等に対する協力も要請した。また、小城市の課題である治水対策の一環としての牛津川遊水地(小城市)と牟田辺遊水地(多久市)の利活用について国土交省の水管理・国土保全局の治水課より説明を受け、意見交換をした。同日、未来を担う子どもたちの健やかな育成を支援するための、これから発足する「子ども家庭庁」に関し、その体制や役割、児童福祉法等の一部を改正する法律案の概

要について担当から説明を受け、意見交換をした。財政状況が厳しい地方自治体だからこそ常に国の動向や新しい政策を把握して市政課題に対応すべきであり、同時に議会はそのチェック機能としてあらゆる角度から研鑽すべきであるという点では、今回の各県庁担当者からの説明及び意見交換は、今後の活動に活用できる重要なものであった。

次に、農林水産省では、農林水産大臣へ牛津川右

岸の浸水常襲地帯に対する排水対策についての要望を行った。県選出国会議員へも訪問し牛津川の激特事業として採択され、現在、牛津川の遊水地、引堤、浚渫しんせつの河川整備事業が実施されつつあることに対するお礼に加えて、今後の市の課題である道路問題等に対する協力も要請した。また、小城市の課題である治水対策の一環としての牛津川遊水地(小城市)と牟田辺遊水地(多久市)の利活用について国土交省の水管理・国土保全局の治水課より説明を受け、意見交換をした。同日、未来を担う子どもたちの健やかな育成を支援するための、これから発足する「子ども家庭庁」に関し、その体制や役割、児童福祉法等の一部を改正する法律案の概



▲古川国土交通大臣政務官への陳情